

養護教諭の先生方からの質問に お答えして

学校歯科保健の歯列・咬合診査の事後措置のために、
「歯並びと噛み合わせのガイドブック」を
参考にされる際の目次本として本冊子をご活用ください。

「歯並びと噛み合わせのガイドブック」（以下、ガイドブック）は、初版を出版した2008年当時は有限中間責任法人であった現公益社団法人日本臨床矯正歯科医会が、副題にもありますように、矯正治療の正しい理解のために、偏りのない平均的な矯正歯科治療を解説するために作成したものです。

しかしながら、学校歯科保健にそのまま対応するものではありませんので、今回のシンポジウムの開催に当たり、以前から養護教諭の先生方からお受けしていた多くの質問事項に関しまして、ガイドブックの「どこにその質問に関する記載があるか」をお示しする目次本として、本冊子を作成しました。なお、ガイドブックに詳細な記載のない質問に関しましては、本大会実行委員会が独自にご回答申し上げます。

養護教諭の先生方からいただいた質問

1) 学校での健康診断に関して

【質問1】

保健調査票にご家庭では○がついていませんでしたが、健康診断の結果の知らせでは、○がついていました。どう考えればよいのでしょうか？

【ご回答】

健康診断では、「異常なし」「定期的な観察が必要」「専門医（歯科医）による診断が必要」の3項目にスクリーニングします。ご家庭で気づいていなかった歯列・咬合に関する口腔内の健康状態を、学校現場の唯一の歯科の専門家である学校歯科医の先生が、リスク回避の観点から指摘する機会が健康診断であるということをご理解いただくように、ご本人やご家族の方に伝えてください。

【質問2】

学校歯科健康診断で歯列・咬合の判定2について、保護者へどのように対応すればよいでしょうか？

【ご回答とご参考となる記載のあるページ】

「判定2」は、専門医（歯科医師）による診断が必要というスクリーニングの結果です。この結果は、矯正治療の必要性を判断するものではなく、現在の歯列・咬合の状態が、将来、口腔の健康や全身の健康にとって、どのようなリスクが考えられるかを理解する機会としてご指導ください。「ガイドブック」pp.22-26

【質問3】

要保護、準要保護を受けていますが、治療は受けられますか？

【ご回答】

医療費援助の制度では、学校歯科健康診断で指摘された歯に限り、保険診療範囲の治療が援助の対象になります。

2) 矯正治療を始める前に

【質問4】

不正咬合にも、いろいろな種類があるそうですが・・・

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」pp.10-20

【質問5】

矯正歯科医院へ行ったら、治療をはじめることになりますか？

【ご回答とご参考となる記載のあるページ】

いいえ。まず、治療が必要かどうか、また、いつ治療開始するのがよいかを検査を行い、それに基づく診断結果に関してご説明を受けることになります。

「ガイドブック」 pp.27-33

【質問6】

いつ、矯正治療をはじめべきですか？

【ご回答とご参考となる記載のあるページ】

治療開始時期は、個人差や症型別の違いがありますので、よくご相談してください。

「ガイドブック」 p.27、 pp.36-42

【質問7】

障害がある児童でも受診できますか？

【ご回答とご参考となる記載のあるページ】

児童個別の対応が必要となりますが、矯正歯科専門で開業している医院の中で、指定自立支援医療機関（育成・更生医療）では、定められた先天異常疾患に対し健康保険による診療が可能です。ご相談ください。

「ガイドブック」 pp.68-69、 pp.115-116

3) 矯正歯科治療について

【質問 8】

矯正歯科ってどんなことをするのですか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.27-33

【質問 9】

治療は、どのくらいの時間（期間）がかかりますか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.62-63、 p.72

【質問 10】

どのくらいの間隔で通院するのですか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 p.62

【質問 11】

矯正治療は、痛いのですか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 p.68

【質問 12】

矯正治療中に、毎日の生活で注意すべきことがありますか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.70-71、 pp.78-81

【質問 13】

矯正の器具（装置）は、いろいろあるようですが・・・

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.64-67

【質問 14】

保定ってなんですか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.58-59

【質問 15】

治療費はどのくらいですか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.68-69

【質問 16】

矯正歯科でむし歯の治療もしてくれますか？

【ご回答】

原則として、むし歯の治療は、かかりつけ歯科医にて治療をお願いすることになります。

【質問 17】

矯正歯科治療を受けることのリスクはありますか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.72-77

4) 乳歯・混合歯列期において

【質問 18】

小学校低学年のうちに歯ならびでチェックしておいた方がいいことは？

【ご参考となる記載のあるページ】

「ガイドブック」 pp.14-15、pp.36-41、pp.84-88、pp.88-98

【質問 19】

永久歯に交換している間の時期に気をつけることは？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.14-20、 pp.88-98

【質問 20】

舌癖って、どんなことですか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 p.20、 p.87

5) 永久歯列期において

【質問 21】

永久歯がはえそろった時期に気をつけることは？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 p.16、 pp.98-100

【質問 22】

大人の矯正歯科治療は、こどもの治療とちがいますか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 p. 42、 pp.100 -103、 pp.105～114

【質問 23】

一部分の歯だけの歯ならびを治すこともできますか？

【ご参考となる記載のあるページ】 「ガイドブック」 pp.101-103

【質問 24】

歯並びの治療をしない場合の全身への将来的リスクはありますか？

【ご回答とご参考となる記載のあるページ】

最近の研究には、歯並びや咬み合わせの不良による身体の機能的なデメリットに関して、下記のような報告があります。

- ①咬むことの効率が悪い→身体の他の臓器（特に消化器系）への負担が増える
- ②食べにくい→偏食の原因になる
- ③唇が閉じられない→呼吸器感染しやすい、免疫機能の低下 など

「ガイドブック」 pp.22-26